

ユーザーガイド

Dell SE2416HM

モデル番号：SE2416HM

規制モデル：SE2416HM_c



注意、警告、危険



注意：注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。



警告：警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。



危険：危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2016–2019 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved. Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次



お使いのモニターについて	5
パッケージ内容	5
製品の特徴	6
部品とコントロールの確認	7
プラグアンドプレイ機能	10
お手入れのガイドライン	10
モニターの設定	11
台を取り付ける	11
モニターの接続	11
ケーブルを整理する	12
台を取り外す	13
モニターの操作	14
モニターの電源をオンにする	14
フロントパネルコントロールの使用	14
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用	16
モニターの設定	29
傾斜の使用	31

トラブルシューティング	32
セルフテスト.....	32
ビルトイン診断.....	33
共通の問題.....	34
製品固有の問題.....	36
付録.....	37
Dell に連絡.....	37
モニターの仕様	38
平面パネルの仕様.....	38
解像度の仕様.....	38
ビデオのサポートモード.....	39
プリセットディスプレイモード.....	39
電氣的仕様.....	39
物理特性.....	40
環境特性.....	41
電源管理モード.....	41
ピン割り当て.....	43

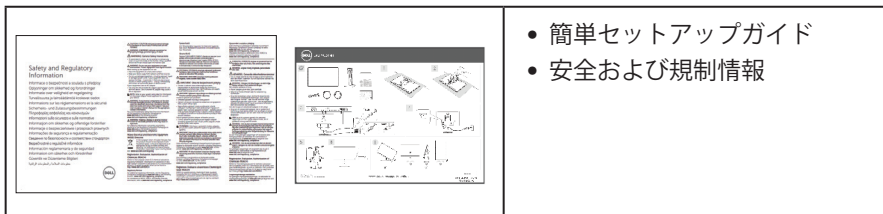
お使いのモニターについて

パッケージ内容

モニターには下記のコンポーネントが付属しています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、足りない場合は「[Dell に連絡](#)」をご覧ください。

-  **注意：**一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。
-  **注意：**他のスタンドとセットアップする場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドのセットアップガイドを参照してください。

	<ul style="list-style-type: none">• モニター
	<ul style="list-style-type: none">• スタンドライザー
	<ul style="list-style-type: none">• スタンド台
	<ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブル（国によって異なります）
	<ul style="list-style-type: none">• VGA ケーブル



- 簡単セットアップガイド
- 安全および規制情報

製品の特徴

Dell SE2416HM 平面パネルディスプレイには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、静電防止、LED バックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

- **SE2416HM** 60.47 cm (23.8 インチ) の表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 1920 x 1080、さらに低解像度の場合フルスクリーンもサポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも使用可能。
- VGA と DVI-D による接続が可能です。古いシステムにも新しいシステムにも簡単に接続できます。
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされている場合)
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- セキュリティロックスロット。
- BFR/PVC 低減。
- TCO 認定ディスプレイ。
- ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル。
- 高いダイナミックコントラスト比 (8,000,000:1) 。
- スリープモード時、0.3 W スタンバイ電源。
- エネルギーゲージにより、モニターが消費しているエネルギーレベルをリアルタイムで表示。


部品とコントロールの確認

前面ビュー



フロントパネルコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン（詳細については、 モニターの操作 を参照してください）
2	電源オン / オフボタン

 **注意：**ベゼルに光沢のあるディスプレイの場合、周囲の光やきらきらした表面の光をベゼルが反射し、妨げになる可能性があります。ディスプレイの交換を検討してください。

背面ビュー



モニタースタンドを取り付けていない状態の背面ビュー



モニタースタンドを取り付けた状態の背面ビュー

ラベル	説明	用途
1	セキュリティロックスロット	セキュリティロックでモニターを固定（セキュリティロックは含まず）。
2	バーコードシリアル番号とサービスタグラベル	技術サポートを受けるために Dell に連絡する際に、このラベルを参照。Dell サービスタグは、Dell の保証と顧客サービス管理目的および基本システムの記録に使用。
3	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類をまとめるために使用。
4	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを解除。

側面ビュー



底面ビュー



モニタースタンドを取り付けていない状態の底面ビュー

ラベル	説明	用途
1	電源ポート	電源ケーブルを接続。
2	DVI-D ポート	コンピューターを DVI-D ケーブルで接続。
3	VGA ポート	コンピューターを VGA ケーブルで接続。
4	規制ラベル	規制承認を一覧表示。

プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル（DDC）プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ（EDID）を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響しません。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

⚠ 危険：モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いて下さい。


⚠ 警告：モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従って下さい。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 画面を清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- モニターの清掃には、軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがモニターの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- モニターは注意して取り扱ってください。黒色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残ります。
- モニターの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。

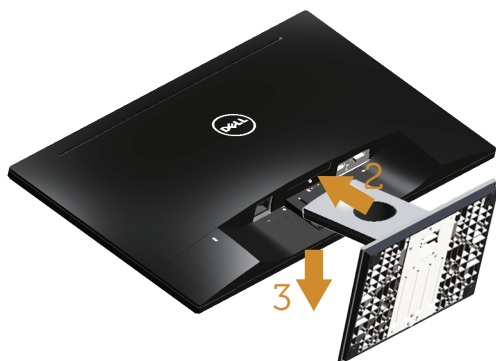
モニターの設定

台を取り付ける

 **注意：**工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。


モニタースタンドを取り付けるには：

1. モニターを柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. スタンド上部のつまみをモニター背面の溝に挿入します。
3. スタンドが所定の位置にはめ込まれるまで下に押しします。



モニターの接続

 **危険：**このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

 **注意：**すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。ケーブルをモニターに接続する前に、ケーブル管理スロットに通すことをお勧めします。

モニターをコンピューターに接続するには：

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを外します。
VGA/DVI-D ケーブルをモニターからコンピューターに接続します。

VGA ケーブルの接続



DVI-D ケーブルの接続（別売り）



ケーブルを整理する

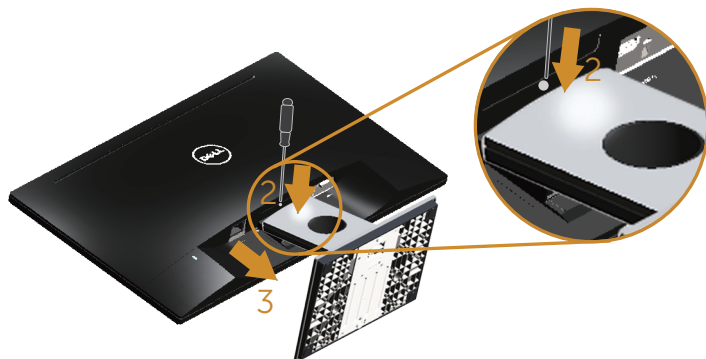


台を取り外す

注意：スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターを柔らかい、きれいな面に置いていることを確認してください。


スタンドを取り外すには：

1. モニターを柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. 長く薄いドライバーを差し込み、リリースラッチを押します。
3. ラッチを外してから、モニターから台を取り外します。



モニターの操作

モニターの電源をオンにする

モニターの電源を入れるには  ボタンを押します。








フロントパネルコントロールの使用

表示されている画像を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。



以下の表は、フロントパネルのボタンについてまとめたものです。





フロントパネルのボタン	説明
1  ショートカットキー / プリセットモード	プリセットモードの一覧から選ぶには、このボタンを使用します。
2  ショートカットキー / 入力信号	モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。
3  メニュー	メニューボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。 OSD メニューにアクセス を参照してください。

4	 終了	このボタンを使用してメインメニューに戻るか、OSD メインメニューを終了します。
5	 電源（電源ライト付き）	電源ボタンを使用して、モニターの電源のオン/オフ を切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオン で完全に機能していることを示しています。白いライ トの点滅は、省電力モードに入っていることを示して います。

OSD コントロール


画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。




	フロントパネルのボタン	説明
1	 上	メニューで値を増やしたり、上に移動したりするに は、上ボタンを使用します。
2	 下	メニューで値を減らしたり、下に移動したりするに は、下ボタンを使用します。
3	 OK	メニューで選択を確定するには、OK ボタンを使用し ます。
4	 戻る	前のメニューに戻るには、戻るボタンを使用します。

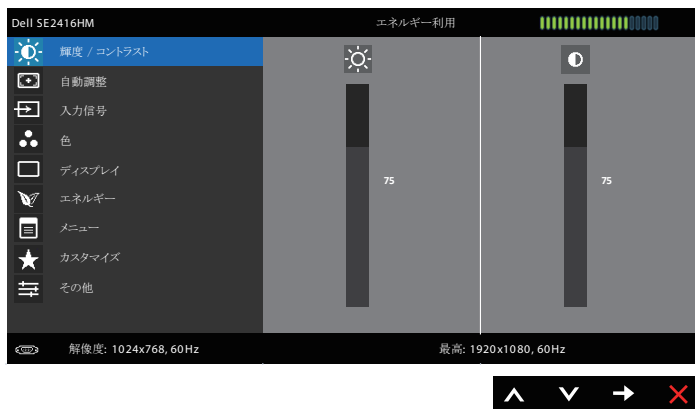
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

OSD メニューにアクセス

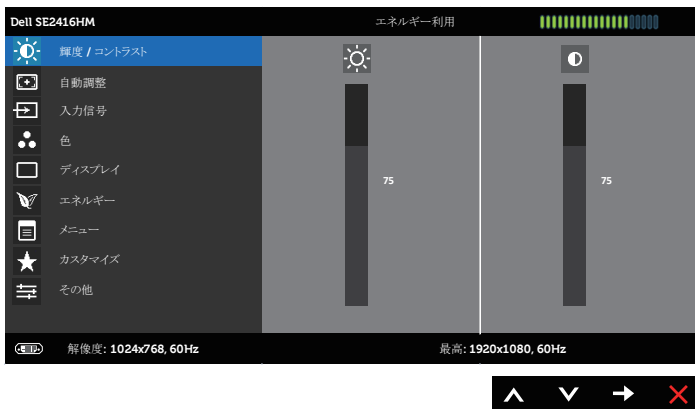
 **注意：**別のメニューに移動するか、OSD メニューを終了するか、OSD メニューが自動的に閉じられると、それまでの変更内容が自動的に保存されます。

1. OSD メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。


アナログ（VGA）入力用のメインメニュー



デジタル（DVI-D）入力用のメインメニュー



2. ▲と▼ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
3. →ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4. ▲と▼ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
5. →を押して、メニューのインジケーターに従って▲ボタンと▼ボタンを使い変更を行います。
6. ↻ボタンを選択してメインメニューに戻ります。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度 / コントラスト	このメニューを使用して輝度 / コントラスト調整を有効にします。
		
輝度	<p>輝度はバックライトの輝度を調整します。</p> <p>輝度を上げるには▲ボタンを押します。輝度を下げるには▼ボタンを押します（最小 0 / 最大 100）。</p> <p>注意：動的コントラストがオンになっているときには、手動で輝度を調整することはできません。</p>	
コントラスト	<p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。</p> <p>▲ボタンを押してコントラストを上げ、▼ボタンを押してコントラストを下げます（最小 0 / 最大 100）。</p> <p>コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p>	



自動調整

このキーは自動設定と調整メニューに使用します。



現在の入力に対するモニターの自己調整として、次のダイアログが黒い画面に表示されます。

自動調整中…

自動調整は、入力ビデオ信号に対するモニターの自己調整を可能にします。自動調整を使用後、ディスプレイ設定からピクセルクロック(粗い)とフェーズ(細かい)コントロールを使用して、モニターをさらに調整できます。

注意: アクティブなビデオ入力信号がない場合、またはケーブルが接続されていない間にボタンを押すと、自動調整は行われません。

このオプションはアナログ(VGA)コネクタを使用している場合のみ利用できます。



入力信号

モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。



VGA

VGA コネクタを使用している場合は、VGA 入力を選択します。→ を押して、VGA 入力ソースを選択します。



DVI-D

DVI-D コネクタを使用している場合は、DVI-D 入力を選択します。→ を押して、DVI-D 入力ソースを選択します。



色

色を使って色設定モードを調整します。



入力カラー形式

ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

RGB: モニターが VGA ケーブルまたは DVI-D ケーブルを使用してコンピューターや DVD プレイヤーに接続されている場合にこのオプションを選択します。

YPbPr: モニターが VGA ケーブルまたは DVI-D ケーブルを使って YPbPr の DVD プレイヤーに接続されている場合、または DVD の色出力設定が RGB ではない場合、このオプションを選択します。



プリセットモード

プリセットモードを選択すると、リストから標準、マルチメディア、ムービー、ゲーム、ペーパー、色温度またはカスタムカラーを選択できます。

- 標準：モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。
- マルチメディア：マルチメディアアプリケーションに適したカラー設定を読み込みます。
- ムービー：ムービーに適したカラー設定を読み込みます。
- ゲーム：ほとんどのゲームアプリケーションに適したカラー設定を読み込みます。
- Paper：テキストを表示するのに適した明るさとシャープネス設定を読み込みます。テキストの背景をブレンドして、カラー画像に影響を与えることなしに紙メディアをシミュレートします。RGB 入力形式にのみ適用します。
- 暖色：色温度を上げます。画面は赤 / 黄色の色合いを帯びた暖かみのある表示になります。
- 寒色：色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ユーザーカラー：手動でカラー設定を調整することができます。

▲ボタンと▼ボタンを押して3つの色（R、G、B）値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



色相

この機能を使用して、ビデオ画像の色を緑または紫に変えることができます。これは、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲または▼を使用して、色合いを0～100の範囲で調整します。

▲を押すと、ビデオ画像の緑の影が増加します。

▼を押すと、ビデオ画像の紫の影が増加します。

注意：色合いの調整は、ムービーまたはゲームのプリセットモードを選択している場合にのみ使用できます。

彩度

この機能を使用して、ビデオ画像の色の彩度を調整できます。▲または▼を使用して彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲を使用してビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

▼を使用してビデオ画像のカラーの外見を増加します。

注意：色合いの調整は、ムービーまたはゲームのプリセットモードを選択している場合にのみ使用できます。

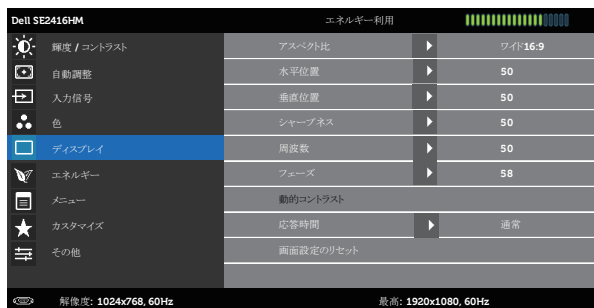
色設定のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。



ディスプレイ

画像設定を変更します。



アスペクト比

画像の比率をワイド 16:9、4:3、5:4 に調整します。

シャープネス

これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。

▲または▼を使用して、シャープネスを0～100の範囲で調整します。

応答時間

高速または通常から選択できます。

動的コントラスト コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。

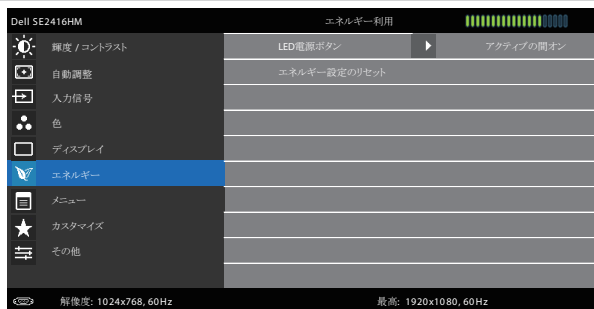
➡ ボタンを使用してダイナミックコントラストの「オン」または「オフ」を切り替えます。

注意：ダイナミックコントラストはゲーム またはムービーのプリセットモードを選択したときにより高いコントラストを実現します。

画面設定のリセット このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。



エネルギー



LED 電源ボタン 電源 LED ランプをアクティブの間オンに、またはエネルギーを節約するためにアクティブの間オフに設定します。

エネルギー設定のリセット デフォルトのエネルギー設定を復元するには、このオプションを選択します。



メニュー

OSD の言語、画面にメニューが表示される時間など、OSD 設定を調整するにはこのオプションを選択します。



言語	言語オプションを使用して、OSD ディスプレイを8つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）のいずれかに設定します。
透明度	このオプションを選択し、 ▲ ボタンと ▼ ボタンを押してメニューの透過性（0～100）を変更します。
タイマー	OSD 保持時間 ：ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。 ▲ または ▼ を使用してスライダーを5～60秒まで、1秒刻みで調整します。
ロック	ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ロックが選択されている場合、ユーザーは調整できません。 Ⓢ キー以外のすべてのキーがロックされます。 注意 ：OSD がロックされているときにメニューキーを押すと、エントリーで「OSD ロック」があらかじめ設定された OSD 設定メニューが直接表示されます。 Ⓢ キーを10秒以上押し続けるとアンロックされ、適用可能なすべての設定にアクセスできるようになります。
メニュー設定のリセット	すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



カスタマイズ

プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調節、入力ソース、アスペクト比の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。



ショートカットキー 1 ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト、のいずれかを選択して、ショートカットキー1を設定できます。

ショートカットキー 2 ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト、のいずれかを選択して、ショートカットキー2を設定できます。

カスタマイズのプリセット ショートカットキーをリセットし、デフォルト設定に戻すことができます。



その他



DDC/CI

DDC/CI（ディスプレイデータチャンネル / コマンドインターフェイス）により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整できます。

オフを選択することで、この機能を無効にできます。

この機能をオンにすることで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。



LCD コンディショニング

この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCD コンディショニングを開始するには、有効を選択します。



他の設定のリセット その他 設定メニューの下にあるすべての設定を初期値に戻します。

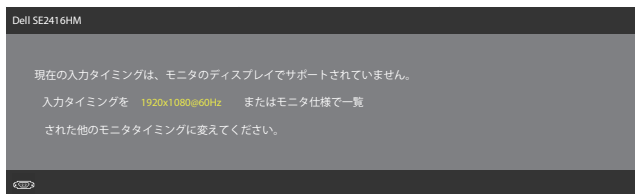
工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



注意：このモニターには自動的に輝度を調整してLEDの経年変化を補正する機能が内蔵されています。

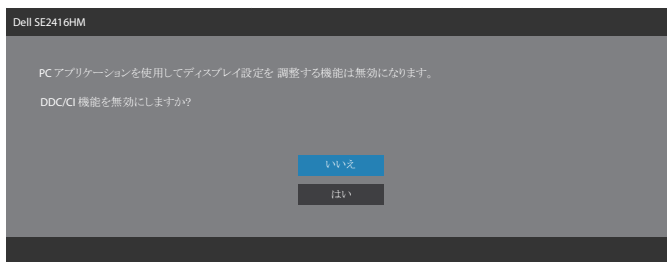
OSD 警告メッセージ

モニターが特定の解像度をサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数幅については、「[モニターの様](#)」を参照してください。推奨モードは1920 x 1080 です。

DDC/CI 機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。

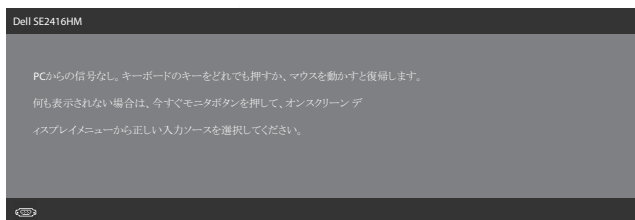


モニターが省電力モードに入る際には、次のメッセージが表示されます。

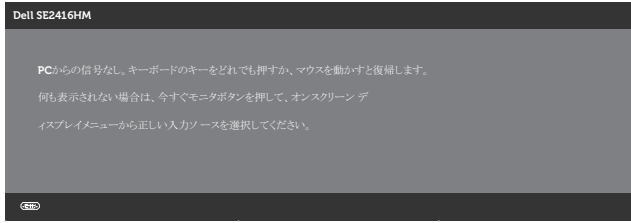


電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます。

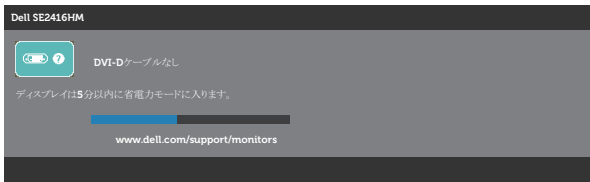
VGA 入力



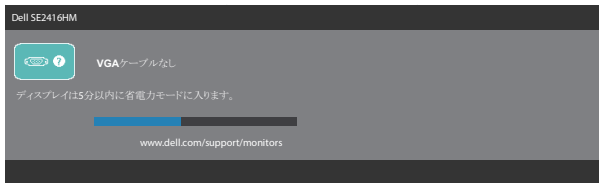
DVI-D 入力



VGAまたはDVI-D入力が選択されているが対応するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

モニターの設定

最大解像度の設定

モニターを最大解像度に設定するには：

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 の場合：

1. Windows 8 と Windows 8.1 の場合、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**画面解像度**をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

オプションとして 1920 x 1080 が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要があります。お使いのコンピューターによって、次の手順のいずれかを完了します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピューターをお使いの場合：


- www.dell.com/support にアクセスし、コンピューターのサービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- お使いのコンピューターのサポートサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。
- お使いのグラフィックカードの Web サイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。

インターネットに繋がった Dell デスクトップ、または Dell ポータブルコンピューターを使用している場合


1. www.dell.com/support にアクセスし、サービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。
2. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** に設定してみてください。

 **注意：** 解像度を **1920 x 1080** に設定できない場合、Dell に連絡し、これらの解像度をサポートするグラフィックアダプターについてお尋ねください。


Dell 製以外のデスクトップ、ポータブルコンピューター、グラフィックカードをご使用の場合

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 の場合：


1. Windows 8 と Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**カスタマイズ**をクリックします。
3. **ディスプレイの設定の変更**をクリックします。
4. **詳細設定**をクリックします。
5. ウィンドウの一番上にある説明から、グラフィックコントローラーのメーカーを特定します（例：NVIDIA、ATI、Intel など）。
6. グラフィックカード製造業者の Web サイトへ行き、更新されたドライバーを見つけます（例えば <http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>）。
7. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** に設定してみてください。

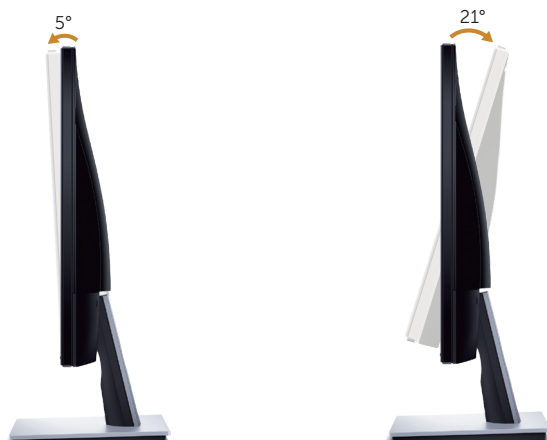
 **注意：**推奨の解像度を設定できない場合、コンピューターメーカーに連絡するか、推奨のビデオ解像度をサポートするグラフィックアダプターの購入を検討してください。

傾斜の使用

 **注意：**これはスタンド付モニターについての説明です。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドのセットアップガイドを参照してください。

傾斜

 **注意：**工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。



トラブルシューティング

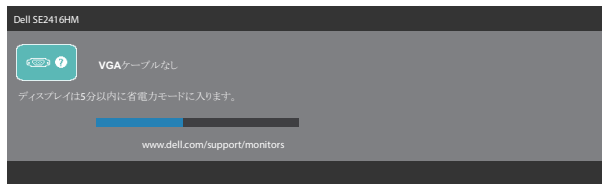
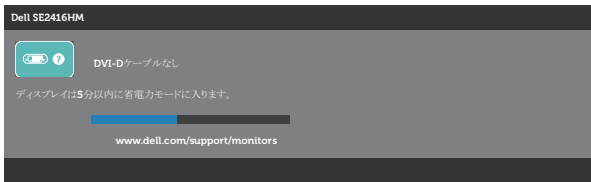
⚠ 危険：このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. モニターからすべてのビデオケーブルを取り外します。ケーブルを外すことで、コンピューターがこのセルフテストに関わらなくなります。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源 LED は白のまま点灯します。




📌 注意：このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。

4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの電源を入れます。

ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。

ビルトイン診断

モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。

 **注意：**ビデオケーブルが抜かれ、モニターがセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには：

1. 画面が汚れていないことを確認します（画面の表面に埃がないこと）。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. ボタン1とボタン4を同時に押し、2秒間押したままにします。灰色の画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン4をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. ステップ5と6を繰り返し、緑、青、黒、白、テキスト画面で表示を調査します。

テキスト画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン4を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。

共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED がオフ	<ul style="list-style-type: none">• モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。• 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。• 電源ボタンが押されていることを確認します。• 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし / 電源 LED がオン	<ul style="list-style-type: none">• OSD を利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。• ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。• ビルトイン診断を実行します。• 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がおかしい	<ul style="list-style-type: none">• ビデオ延長ケーブルを取り除きます。• モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。• ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ / 不安定なビデオ	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。• 環境要因をチェックします。• モニターを移動させ、別の部屋でテストします。
ピクセル抜け	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直します。• 常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。• Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
常時点灯ピクセル	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直します。• 常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。• Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
輝度の問題	<ul style="list-style-type: none">• モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。• OSD で輝度とコントラストコントロールを調整します。

幾何学的歪み	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 • OSD で水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。
水平 / 垂直ライン	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。 • ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 • ビルトイン診断を実行します。
同期の問題	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 • ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 • コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全関連の問題	<ul style="list-style-type: none"> • どんな問題解決手段も実行してはいけません。 • Dell にすぐにご連絡ください。
断続的な問題	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 • モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 • モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションに応じて、色設定 OSD の色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 • 色設定 OSD で異なるプリセットモードを試みます。色設定 OSD で、ユーザーカラーの R/G/B 値を調整します。 • 色設定 OSD で、入力カラー形式を RGB または YPbPr に変更します。 • ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	<ul style="list-style-type: none"> • 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常に切るようにします (詳細については電源管理モードを参照してください)。 • または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。
ビデオのゴースト発生またはオーバーシュートティング	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ OSD の応答時間を利用目的に合わせて高速または標準に変更します。

製品固有の問題

固有の症状	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイ設定 OSD で、アスペクト比設定を確認します。モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。
サイドパネルのボタンを使用してモニターを調整できない	<ul style="list-style-type: none">モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合、メニューボタンを 10 秒間押し、ロックを解除します。(詳細については、ロックを参照してください。)
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	<ul style="list-style-type: none">信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターが待機またはスリープモードにないかを確認します。ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">DVD の異なるビデオ形式 (アスペクト比) のため、モニターは全画面表示しません。ビルトイン診断を実行します。

付録

危険：安全上の注意

⚠ 危険：この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。

安全上の注意については、製品情報ガイドを参照してください。

3

Dell に連絡

米国内のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

✍ 注意：有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell 製品カタログに掲載されています。

Dell では複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

オンラインのモニターサポートコンテンツを入手するには、以下の手順に従います。

1. www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

販売、技術サービス、顧客サービスについて Dell に連絡する場合は、下記にお問い合わせください。

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. ページの一番下の国 / 地域を選択ド롭ダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. ページの左側にあるお問い合わせをクリックします。
4. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択します。
5. 希望する Dell への連絡方法を選択します。

⚠ 危険：ベゼルに光沢のあるディスプレイの場合、周囲の光やきらきらした表面の光をベゼルが反射し、妨げになる可能性があるため、ディスプレイの交換を検討してください。

モニターの仕様

平面パネルの仕様

モデル	SE2416HM
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	プレーン内切り替え
表示可能画像	
対角	604.70 mm (23.81 インチ)
水平、アクティブエリア	527.04 mm (20.75 インチ)
垂直、アクティブエリア	296.46 mm (11.67 インチ)
領域	1562.46 cm ² (242.15 平方インチ)
ピクセルピッチ	0.2745 mm
視野角	178 度 (垂直) 標準値 178 度 (水平) 標準値
輝度出力	250cd/m ² (標準値)
コントラスト比	1,000 対 1 (標準値) 8,000,000 対 1 (ダイナミックコントラスト)
表面コーティング	硬度 3H の反射防止処理
バックライト	LED ライトバーシステム
応答時間	6 ms 標準 (G から G)
色深度	1670 万色
色域	CIE 1976 (84%)、CIE 1931 (72%)

解像度の仕様

モデル	SE2416HM
水平走査範囲	30 kHz から 83 kHz (自動)
垂直走査範囲	56 Hz から 76 Hz (自動)
最大プリセット解像度	1920 x 1080、60Hz

ビデオのサポートモード

モデル	SE2416HM
ビデオ表示機能 (DVI-D 再生)	480p、480i、576p、720p、1080p、576i、1080i

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+

電氣的仕様

モデル	SE2416HM
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none">アナログ RGB、0.7 ボルト、+/-5%、75 Ω 入力インピーダンスで肯定極性デジタル DVI-D TMDS、それぞれの異なるラインの場合 600mV、50 Ω 入力インピーダンスで肯定極性
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A (標準)
突入電流	<ul style="list-style-type: none">120 V: 40 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)240 V: 80 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)

物理特性

モデル	SE2416HM
シグナルケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">デジタル：取り外し可能、DVI-D、ソリッドピンアナログ：取り外し可能、D-Sub、15ピン。
寸法（スタンド付き）	
高さ	423.10 mm（16.66 インチ）
幅	556.60 mm（21.91 インチ）
奥行き	179.90 mm（7.08 インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	330.10 mm（13.00 インチ）
幅	556.60 mm（21.91 インチ）
奥行き	55 mm（2.17 インチ）
スタンド寸法	
高さ	177.00 mm（6.97 インチ）
幅	250.00 mm（9.84 インチ）
奥行き	179.90 mm（7.08 インチ）
重量	
重量（パッケージを含む）	6.26 kg（13.80 ポンド）
重量（組み立てスタンドとケーブルを含む）	4.30 kg（9.48 ポンド）
組み立てスタンドなしの重量（ケーブルなし）	3.34 kg（7.36 ポンド）
組み立てスタンドの重量	0.66 kg（1.45 ポンド）
フロントフレームグロス（最小）	黒フレーム - 85 グロス本体

環境特性

モデル	SE2416HM	
温度		
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
非運転時	• 保管時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
	• 輸送時	
湿度		
運転時	10% から 80% (結露しない)	
非運転時	• 保管時	10% から 90% (結露しない)
	• 輸送時	
高度		
運転時 (最大)	5,000 m (16,400 ft)	
非運転時 (最大)	12,192 m (40,000 ft)	
熱出力	(最大)	• 85.32 BTU/ 時間
	(標準値)	• 68.26 BTU/ 時間

電源管理モード

お使いの PC に VESA の DPM 準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニター未使用中には、自動的に消費電源を低減します。これは電源セーブモードです*。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力とこの自動省電力機能の信号を示しています。

* OFF モードのゼロ電力消費は、モニターから電源ケーブルを切断した場合のみ達成できます。

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	電力消費
通常動作	有効	有効	有効	白	25 W (最大) ** 20 W (標準)
アクティブオフモード	無効	無効	空白	白 (淡い点灯)	0.3W 以下
スイッチオフ	-	-	-	オフ	0.3W 以下

電力消費P _{ON}	20 W
合計エネルギー消費 (TEC)	63,8 kWh

** 最大輝度と USB が有効な状態で最大電力消費となります。

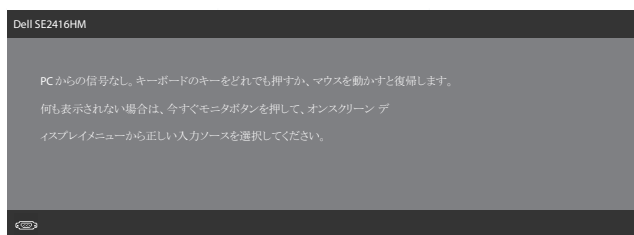
本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を提示しています。注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては製品の性能が変わることがあります。そのような情報を更新する義務は製品にありません。そのため、電気的な許容範囲またはそれ以外について意志決定を行うとき、本書の情報に依存しないでください。精度と完全性については、明示的にも暗示的にも何の保証もありません。

注意：

P_{ON}: Energy Star 試験基準に従い測定されたオンモードでの消費電力。

TEC: Energy Star 試験方法に従い測定された kWh 単位での総エネルギー消費量。

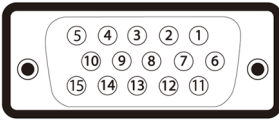
OSD は、通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のいずれかのメッセージが表示されます。



OSD にアクセスするには、コンピューターとモニターをアクティブにします。

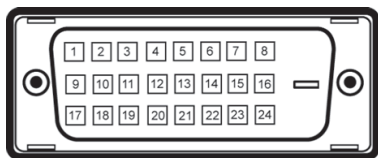
ピン割り当て

D-SUB コネクター



ピン番号	接続された信号ケーブルの 15 ピン側
1	ビデオ赤
2	ビデオ緑
3	ビデオ青
4	GND
5	セルフテスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター 5V/3.3V
10	GND-sync
11	GND
12	DDC データ
13	H-sync
14	V-sync
15	DDC クロック

DVI-D コネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの 24 ピン側
1	TMDS RX2-
2	TMDS RX2+
3	TMDS グラウンド
4	フローティング
5	フローティング
6	DDC クロック
7	DDC データ
8	フローティング
9	TMDS RX1-
10	TMDS RX1+
11	TMDS グラウンド
12	フローティング
13	フローティング
14	+5 V/+3.3 V 電源
15	セルフテスト
16	ホットプラグ検出
17	TMDS RX0-
18	TMDS RX0+
19	TMDS グラウンド
20	フローティング
21	フローティング
22	TMDS グラウンド
23	TMDS クロック +
24	TMDS クロック -